

多くの問題をかかえる日本。その中でもオープンIT技術者の周辺では、自分のスキルを武器に世界と戦う方法ができつつあります。IT技術者のこのような流れは日本の将来に対する指標となるに違いありません。旧来の仕組みに対し、新しい仕組みはどのように構築できるのでしょうか。

今回は、様々なフィールドの先端でフロンティアに踏み込んだ各名にお越しいただき、講師をお願いしました。

講師紹介



「企業にとってのHacker-Centric Culture」

楽天技術理事 吉岡弘隆(よしおかひろたか)

米国Oracle社でのOracle RDBMS開発、ミラクル・リナックス取締役CTOなどを経て、現職に至る。セキュリティ&プログラミングキャンプ委員。U-20プログラミングコンテスト審査委員、カーネル読書会主宰。「自走するエンジニアにとって必要な環境と、それを実現していく方法論について」

「僕の異常な就職活動 または僕は如何にしてESを書くのを止めてコードを書くに至ったか」

KLab株式会社 坂本和大(さかもとかずひろ)

早稲田大学政治経済学部卒業。就職活動をやめてmixiアプリを開発、実績をPR。複数社からオファーを受ける。

2010年KLab入社後、ソーシャルアプリ開発の最前線でエンジニアとして働く。徳島出身。

「一行リレー小説の開発～就職の流れをメインにお話、加えてソーシャルアプリ開発の現場で働くようになった今、改めて一行リレー小説を見た時の反省点(バックエンドや負荷対策の設計)なども少しだけお話できればと思います。」



「マイクロソフトにおける女性のワークライフバランス」

マイクロソフト株式会社 デベロッパー&プラットフォーム統括本部 オーディエンスマーケティング部

オーディエンスマーケティングマネージャー 舟越美宝(ふなこしみほ)

2000年マイクロソフト入社。一貫してマーケティングに携わる。現在は、日本のITエンジニアの満足度向上を目指して活動するチームに所属。2005年に出産。現在小学校1年生の男児の母。マイクロソフトの仕組みの紹介、最先端の仕事と育児をいかに両立するか。会場からも広く質問を受付ます

特別講演 ※ 会場講演限定 ※ 「勉強会開催に必要なもの」

中国GTUGマネージャー 横山隆司(よこやまたかし)

オープンセミナー@岡山で2年間実行委員長を務める。瀬戸内地方のオープン技術者の交流に貢献。

中国GTUGを立ち上げ、現在マネージャとしてGoogle技術の布教活動を行う。

「これまでの2年間で思ったことの一部と開催に必要なものをお話してみようと思います。」

